小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	有限会社　タロサ	代表者	長谷川　祐一
事業所名	よつくらの家	管理者	中根　明美

法人・事業所の特徴	医療連携が図られ、医療依存の高い利用者様も受け入れ態勢が整っている。 緊急依頼にもリアルタイムで受け入れる体制を整備している。 同じ事業所が近隣にあり連携や協力体制がとれている。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	4人	人	1人	1人	2人	2人	2人	13人

項　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の 確認	目標を明確にし、全職員が統一した情報の把握と具体的な取り組みを検討し統一した対応を行いサービスの質の向上に努める	年々、自己評価への取組みに対し個々の認識も高まり目標を明確にすることで、積極的な意見交換が得られ共通認識を持つことができた。 具体的な対応内容を検討し、支援に努めることでサービスの質の向上に努めることができた。	・事業所内で介護職員、看護師、介護支援専門員など多種多様な職種が対応し、ミーティングなどを行って互いに共有しながら目標達成に向って皆で取り組む姿勢が話から見られます。	サービスの質の向上を図るため、事業所自己評価への取組みについて更に意識を高め、全職員が共通認識を持ち統一した対応に努める
B．事業所の しつらえ・環境	感染防止に留意し、季節を感じられる行事の参加や心地よい空間作りを行い、居心地の良い環境作りに努める	感染防止対策の為、家族や地域の方との交流の制限の中、感染症の動向を確認し、季節を感じられる行動、花見、紅葉狩りに出掛けたり行事食の提供、また季節に合わせた展示を施設内に行い四季を感じられる工夫に努めた。 個々に応じた好みの物を部屋に置き心地良い空間作りも確保した。	・季節の行事など感染に注意して外出の工夫をして、事業所内にも行った先の写真など掲示し季節を感じられる環境作りが出来ていると思います。 ・個室でテレビを見たり、横になったりも出来るのでゆったりと生活が出来ている。	本人のこれまでの生活スタイルを維持できるよう感染症対策に留意し家族や地域との交流が保たれるよう援助する。 また、年間行事計画を立案し四季を感じていただけるよう支援し、いやしの空間作りに努める。
C．事業所と地域の かかわり	地域内の活動内容を把握、参加し情報の交換を行い、各関係機関と連携を図り柔軟な支援が提供できるよう整備をする	医療機関や各関係機関との連携を図り、情報を共有し連携に努め柔軟な支援を図ることができた。 また、当該事業の調剤薬局薬剤師とも連携し統合的に支援ができる体制を整えた。 感染対策に留意し各関係機関との会議を通し関係の構築にも努めた。	・看護師が多くいるのは強みと思う。 ・地域の会議なども参加して頂き何かあればすぐに相談に乗って頂けるので大変助かっています。 ・今後も緊急での相談などもあると思いますが宜しくお願いします。 ・四倉地区の民生員さんと久之浜地区の民生員さんとの交流会なども今後定期的に行っていくので参加をお願いします。	地域の会議や行事に参加し、情報の交換を行い個々の役割を明確にすることで連携を図り柔軟な支援が提供できるよう整備する。

D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	本人のニーズを把握し本人の暮らしを支えるため、施設が持つ機能と地域の資源を活用し途切れない支援に努める	地域の資源の活用については感染症の動向を確認し対応に努めたが、感染拡大の時期には積極的に地域との関係を保つことが困難だった。 しかし、本人のこれまでの生活スタイルや人間関係を保持するため、得た情報は職員間で共有し外出の支援や訪問散髪の利用により本人の暮らしを支え途切れない関係づくりに努めた。	・コロナも終息しているわけではなく、高齢者は風邪などでも重症化してしまうので外に出るリスクはあると思うが、そんな中でも外出を楽しんでいる様子が伺えます。 ・訪問散髪など、床屋などにも行くことが難しい車椅子の方や寝たままの方がいると聞いているので良いと思う。	本人の自宅や地域での暮らしぶりを理解し、ニーズに応じるため地域の資源を活用し本人の暮らしを支える支援に努める。。
E．運営推進会議を活かした取組み	意見交換や情報交換を継続的に行い会議を通し連携を深め、意見を運営に反映させサービスの質の向上に努める	運営推進会議を通し、当施設の概要や利用状況を説明し地域における役割について理解を得ていただくことができた。 また、感染症対策については予防の対策、潜伏期間の対応、発生時の対応について意見を交換した。 地域の現状についても、担当者より説明があり、多職種の連携も更に強化し、協働した取組みについても継続的に対応することを再確認した。	・会議に今回初めて参加させてもらいましたが、介護保険のことから、施設の状況、感染症のことなど大変為になる意見が多く聞けて良かった。 ・この地区に住んでいても現状の把握などは出来ない。こういった会議でそういった情報も聞けるので今後も参加していきたい。	協働した取組みについて継続的に対応できるよう感染対策に留意し会議を開催。 会議で検討した内容は全職員で共有し、事業所全体で取組みサービスの質の向上を図る。
F．事業所の防災・災害対策	感染防止対策に留意し、防災計画を元に避難訓練を実施する。 訓練で明確になった課題は見直しを行い内容を全職員で共有し安全を確保する。 実践を通し、施設に合った対策をBCPに取り入れ充実させる	消防計画に添い火災、地震、風水害、津波を想定し避難訓練を実施した。訓練を通し明確になった課題は直ちに見直しBCPに取り入れたことで全職員で共有することができた。 日々の訓練により津波警報が出た際、利用者の安全を確保し対応することができ、今後も安心して施設を利用できるよう対策の強化に努める。	・BCPの内容を説明してもらい理解することができた。 ・災害でこういった施設が機能しなくなると利用している方は大変だと思う。 ・津波警報で別に避難し利用者が一夜を過ごしたと聞いた時の内容がしっかり出来ていた。	防災計画に添い避難訓練を実施し、災害対策に取組み地域の協力も得られるよう体制を整える。 また、実践を通しBCPの内容を全職員が理解し共有できるよう充実させ、防災、災害対策の強化に努める。

よつくらタローの家

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　7年　12月　4日（木）
1．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	鈴木、佐藤、ノルマ、メリー、加谷、新川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3人	5人	0人	0人	8人

前回の改善計画

利用者様の不安に思うことや、心配なことを日常的に関わる職員が確認していき、その聞いたり、確認した内容などは常にミーティングなどで報告しながら必要な支援を考えていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

職員も常に同じ職員が対応していることで少しでも不安を訴えたり、表情を見て困っているようなしぐさなどあれば職員が話しを行いその内容などを 1 人で解決することなくミーティングで報告し皆で必要な支援を検討し対応を行うことができた。
介護職員には外国人の方もいるのでミーティングだけでは伝わっていないこともあり、どのように伝えるのが良いのか悩むことがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	6	2	0	0	8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	6	2	0	0	8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	3	3	2	0	8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2	6	0	0	8

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

不安や心配なことなど利用者より話がある時は傾聴し解決策をミーティングなどを利用し、職員間で話し合いを行い、良い支援ができるように働きかけている。
ミーティングを通して話し合う機会は常に持つことが出来た。
初めて利用する時など送迎時には職員が付き添いを行い、挨拶はもちろん車内でも体調の確認や共有した情報などから昔の話なども交えて気遣いができた。

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

ミーティングやミーティングノートなどを通して日々の不安など職員間に共有していこうとするが外国人も働いている為中々日本語の内容を伝えていくことが難しい。
本人に聞くと「大丈夫」「分かりました」の声が聞かれるが実際には理解できていなかったなどもあり今後も課題となっている。

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

日々関わる職員、送迎対応した職員が確認した本人、家族の不安、介護支援専門員が訪問や面談して確認した家族、本人の不安や困りごと、看護師が確認した医療的な不安等はミーティング等を活用し皆で共有し支援を検討していく。

よつくらタローの家

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　7年　12月　5日（金）
2.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	鈴木、荻野、ノルマ、メリー、チェリル、新川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	6人	1人	0人	8人

前回の改善計画
どの職種でも話しやすい環境を作り、時には意見を振ってみてどの程度理解しているなども見ていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
ミーティングなどで説明をしっかり行ってから意見を振るが大抵は同じ職員が意見を述べるに留まり、何でも話しやすい環境を作っているが全員からの意見を確認することが難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	2	5	1	0	8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2	5	1	0	8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	2	5	1	0	8
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	4	4	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職員間、多職種においても、分け隔てなく同等の立場で話し合いができているよう対応している。 計画書の課題を基本としながら、日々のかかわりで小さなことでも本人が「したい」ことを実際に聞いて出来る範囲で取り組んだ。自分で分からないことは担当ケアマネと話をするなどして把握に努めた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
日本人間においての意見交換においても他者任せで意見を中々出せない人もいる。 ミーティングで意見を確認する為に説明してから意見を求めるが意見もあまり出ずに大体が同じ職員が発言することが多く見られた。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
話しやすい工夫、内容をかみ砕いて説明、相手が「分かりました」「大丈夫」との返答も何が分かったのか、何が大丈夫なのかを確認し、無理強いしない程度で時には個別に情報の確認を行う。	

よつくらタローの家

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　7年12月 16日（　火　）
3．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	鈴木、佐藤、ノルマ、メリー、新川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	5人	3人	0人	0人	8人

前回の改善計画
入浴や送迎、レクリエーション時間など利用して、生活上の困りごとや悩みを聞き出し、本人の思いを職員全体でミーティングなど通して共有し、本人の望む暮らしが出来るように支援していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
特に送迎車の中などでは職員との日常的会話もあり、その際に困りごとなど確認した際には担当ケアマネなどに直接または、朝のミーティング時など利用して報告し支援に繋げることができた。 出来る限り要望や困りごとに対して支援内容を検討するも自宅での支援に対しては家族にお願いしないと難しいことが多かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	2	3	3	0	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	6	2	0	0	8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	4	3	1	0	8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	7	1	0	0	8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	7	1	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々の関わりの中で同じ目線で対応することで、悩みなど思いを聞き出すことが出来、本人にの思いに寄り添って支援ができた。 どんな場所でもどんな時ででも本人から訴えなどあればしっかり確認しミーティングを利用して職員に報告し共有し対応を検討することができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
認知症の影響で思うように言葉が出せない利用者につい日々の業務におわれ、後回しにしてしまうこともあった。 思ったことが言えない利用者に対してのチームとしてアプローチが足りないと感じた。 他国の方との職場で言語の壁などもあるのか共有がうまく出来ていないと感じることもあった。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
個人個人での対応だけでなく、良いと思う行動に対してはミーティングなどで職員全体で共有して取組み、取り組んだ結果までしっかり確認し評価を行う。必要なら内容を再検討するなど利用者個人個人に対して支援を行う。	

よつくらタローの家

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7年　12月　29日（月）
4．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	鈴木、佐藤、竹永、ノルマ、チェリル、新川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	5人	2人	0人	8人

前回の改善計画

帰宅後や宿泊前の生活など家族や知人の面会時、利用者様の会話の中から見つけ出し、利用者様が家族様や地域とのつながりが途絶えないように支援していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

コロナや季節の感染症などがあった際には面会室等で対面式、接触をさけながらの面会であった為、家族と本人の会話など確認することが難しかった。
そんな状況でも面会の終了後などに家族と以前の暮らしの状況など確認した。
利用前にアセスメントや本人に面談を行った内容をまとめミーティング等で説明することで理解を得られた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2	6	0	0	8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	5	1	0	8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1	4	3	0	8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	4	3	0	8

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

面会時や電話での対応、日々使用している手帳などでやり取りを行うことで自宅での生活が見え、家族からの悩み相談などもあり、看護師、介護職員、計画作成担当者からアドバイスや支援を行っている。
本人と家族、地域との関係が途切れないように病院受診以外でも顔を見ながら話せる環境作り、事前に連絡を受けての友人やご近所の方との面会など行うことができた。

できていない点　200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

利用者個人個人の民生員などは、あちらから連絡があって初めて知ったケースもあり全体的に把握は出来ていない。
宿泊を支援している利用者様家族では疎遠になっているケースもある。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

地域で行われている地域住民参加型の研修会や民生員との交流会に参加して小規模の役割説明や災害時の対応など情報共有を図る。

よつくらタローの家

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 8年1月 8日（木）
5．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	鈴木、佐藤、竹永、メリー、チェリル、新川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	6人	2人	0人	0人	8人

前回の改善計画
外出や面会、自宅帰宅調整などを行い家族や友人、地域との関わりを絶たない支援を継続する。

前回の改善計画に対する取組み結果
家族からの申し出での外出は感染症の流行等以外ではしっかりサポートを行い本人からの要望での外出などは家族協力の下行うことが出来た。また本人の希望を第三者として家族に伝え帰宅調整など行い家族との関係が途切れない支援ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	4	2	0	8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	6	2	0	0	8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	6	2	0	0	8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	7	1	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用者本人や家族の要望に即座に対応が出来ている。
利用者本人の希望で帰り時間なども調整し午前中利用で帰宅したり、入浴だけ行って帰宅したり、急な宿泊依頼にも対応が出来ている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

通院での介助中心の訪問になり、近隣のサ高住への訪問対応以外は出来ていないと感じる。
どうしても家族からの要望が強く出て利用者本人の希望より優先になってしまうことがあった。
家族と本人の思いのズレから本当は別の支援が出来るのではと悩むことがある。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

今後も自宅生活を支える上で、家族が仕事などで日中不在になる際の帰宅までの時間を小規模で過ごす、食事の提供、朝家族不在になる前の迎えや家族の協力による送迎対応、緊急依頼であればその日でも宿泊を調整し宿泊する場の環境整備を行う等しっかり対応していく。

よつくらタローの家

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　8年　1月　12日（月）
6．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	鈴木、佐藤、竹永、ノルマ、メリー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2人	5人	1人	0人	8人

前回の改善計画
中地域ケア会議に参加した内容を事業所職員と共有し、地域包括支援センター等より協力の依頼があれば調整しながら参加を継続する。

前回の改善計画に対する取組み結果
地域包括支援センターや地域の介護支援専門員同士のつどいの場、ケアマネネットワーキングなどに参加したり、中地域ケア会議に管理者が参加し地域の現在の取組や課題等を職員に説明し共有することができた。 地域包括支援センターからの依頼などもあったが業務の方があり調整して参加できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	3	4	0	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	3	3	0	8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	2	6	0	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	2	6	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
医療機関、福祉用具事業所等、包括支援センターなどとも話し合いや相談など連携もしっかりできた。 主治医と直接の連携は看護師が中心として行っており、窓口として訪問看護との連携なども多職種で行っている。 系列の薬剤師が定期的に訪問して頂き、顔の見える連携も図れた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
医療機関や福祉用具事業所、包括支援センター等との連携は出来ているが、連携が取れる職員は介護支援専門員や看護師、ごく一部の職員に限られている。 コロナの影響もあるのか地域の方や子供等が訪れる機会は行事の時くらいしかなかった。 運営推進委員などのメンバーである区長さんや民生員さんが会議や避難訓練に参加する機会はあったが子供などが訪れる機会は作れなかった。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
引き続き中地域ケア会議には管理者が出席を調整して地域の現在の取組や現在の課題などを把握した内容をミーティング等で説明を継続し小規模として何か対応が出来ることがあれば協力をしていく。	

よつくらタローの家

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　8年　1月　7日　　(水)
7．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	鈴木、大河原、荻野、ノルマ、新川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	5人	3人	0人	0人	8人

前回の改善計画
引き続き、地域で行っている行事などを把握しながら、お神輿担ぎなどには職員や利用者の参加を調整して地域の取組を行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
今年はお神輿担ぎは職員の調整が難しく参加を見送ったが、例年通りにお神輿が事業所まで来てくれ利用している方や外に出る機会が少ない利用者、職員近隣の住民の方と一緒に参加することができた。 季節の行事などは感染対策をしながら個別での対応を行い、実際に見学に行った先で地域の方と利用者がお話しする機会が作れた。 歩行者天国などのイベントもあったが感染症の影響などもあり利用者参加などはできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	4	3	1	0	8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	5	1	0	8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	1	6	0	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	2	2	4	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域のお祭り、お神輿祭りなどには利用者と職員で参加させて頂き、今年は出来なかったが実際にそのお神輿担ぎなどに職員が参加したこともあった。 利用者や家族の意見や要望に対しては送迎時に聞いたり、電話で確認した際にはミーティングなど用いて話し合い解決策を講じる対応が取れている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の方からのお神輿担ぎの担い手として職員の参加を促されたが、調整が出来ず参加を見送ってしまった。 まだまだコロナやそれ以外の感染症の影響は出ており、参加出来ない行事や地域と関わりが難しかった。 中地域会議に参加して地域の実情など把握に努めたが、協働して行う取り組みは出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
利用者、家族、介護者からの苦情はもちろん、小さな要望に対してもしっかり確認して職員にミーティングで説明伝え、改善を行っていく。内容が短時間で検討が難しい際には近隣事業所と連携し委員会など開催し改善を行っていく。	

よつくらタローの家

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　8年　1月 14 日　　（　水　）
8．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	鈴木、荻野、竹永、メリー、チェリル

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2人	4人	2人	0人	8人

前回の改善計画

事故の未然防止の為にヒヤリハットは欠かせない。しかし文化の違いから書き方が分からない等の職員には事例を通して説明し時には動画なども使用しその必要性を理解してもらった上で記載し大きな事故を未然に防ぐようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

ひやりとしたはっとした事故まで行かないまでも危険な状況になる可能性があるなどの場合には報告をしっかり行い、ヒヤリハット、事故報告書に記入、事故検討委員会など行い改善に努めた。
文化の違いは中々説明も難しく書き方などはうまく伝えられず代筆するなど対応を行った。報連相に対してもミーティング等で説明を何度も行ったが中々理解することが難しい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	5	0	0	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	7	1	0	8
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	8	0	8
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	7	1	0	0	8

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ひやり・ハットを用いてその内容などミーティングで情報共有し改善に努めている。
外国人の方は日本語検定や介護の試験があるので休息時間など利用して日本の職員が一緒に勉強するなど機会を作って支援している。
研修などは業務もあり中々時間が取れないが、コロナ禍から行っている動画視聴型研修参加や Zoom を用いて各事業所との合同研修や研修会の参加を行った。

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

外国人の職員からの報連相がうまくいかず、ヒヤリハットなど一緒に教えながら行ってもまだ理解が出来ていないと感じた。
出来る限り参加出来るように調整を行うが夜勤などもあり参加出来る職員が限られてしまう。

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

ミーティングを活用し報連相の必要性の説明を継続、職業倫理等の研修も行い理解を深める。ヒヤリハットもまずはそういった状況になったことを必ず報告してもらうことから始め、記載方法などは個別に職員同士で確認しながら書けるようにする。ヒヤリハット・事故検討委員会を開催し改善に努める。

よつくらタローの家

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　8年1月　16日（　金　）
9．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	鈴木、荻野、ノルマ、チェリル、新川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	5人	3人	0人	0人	8人

前回の改善計画

身体拘束及び虐待の指針を整備して周知を図っている為、年に1回以上指針について説明を行い研修計画を立てて、引き続き研修への参加を行っていくことで知識を深めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

指針の整備と職員への説明をミーテング等で行い、参加出来なかった職員に対しては個別や回覧で確認できるようにした。気軽に見れるように動画視聴型で研修以外でも休息後の勉強会時間に流すなどして理解できるように対応した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	7	1	0	0	8
②	虐待は行われていない	7	1	0	0	8
③	プライバシーが守られている	7	1	0	0	8
④	必要な方に成年後見制度を活用している		2	6	0	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	1	0	0	8

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

身体拘束適正化委員会及び虐待防止委員会を発足し定期的に話し合いを行い、身体拘束0に努めている。
ミーティングや申し送りの中で利用者の状況では身体拘束にならない対応について話し合いを行っている。
職員の中では身体拘束について理解が出来ない職員もいたが、簡単に行うことは出来ない、利用者の尊厳を傷付けるという内容について理解は出来ている。

できていない点　200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

難聴の利用者には大声でないと伝わらず大声で名前を呼んでしまうこともある。
羞恥心への配慮やプライバシーの研修なども行っているが配慮が足らないと感じる。
身体拘束について説明も言葉がうまく伝わらずに理解ができていないと感じた。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

身体拘束適正化及び虐待防止委員会を定期的に開催しその内容をミーティング等で職員に伝え、身体拘束0、虐待の可能性があった際些細な事でも気づいた際には報告できる体制をとっていく。